

TOTO

コンパクト手洗器用アクアオート

TEL592型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



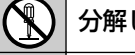

1.1





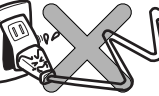
安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)





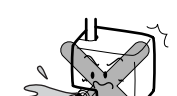


取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。




- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	ふる、シャワーなどの「水場での使用禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

警告	
	ガタついているコンセントを使わない 火災の原因になります。 
	指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。 
	電源プラグや機能部に水をかけない 電気製品ですので、火災や感電の原因になります。 
	電源コードを折り曲げたり、重いものを乗せるなど乱暴に扱わない 火災や感電の原因になります。 

警告	
	浴室など湿気が多い場所には設置しない 故障・感電の原因になります。 
	電源プラグをコンセントに差し込むときは根元までしっかり差し込む 火災の原因になります。 
	フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する 高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	絶対に分解したり、修理・改造は行わない 故障・感電の原因になります。 

注意	
	強い力や衝撃を与えないでください。 破損してけがをしたり、故障や水漏れの原因になります。 
	屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。 故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。凍結のおそれがある場合は、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。 

⚠ 注 意



禁止

手洗器に硬い物を落とさないでください。

手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



手洗器にぶら下がったり、乗ったりしないでください。

手洗器が破損し、けがをするおそれがあります。



手洗器に熱湯を注がないでください。

手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力範囲は、0.05～0.75MPaです。
この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 配線について

- AC100Vタイプの場合、**電源はAC100V(50/60HZ)、最高消費電力は0.6W**です。
必ずこれに適した配線をしてください。
- 発電タイプは電源工事不要です。

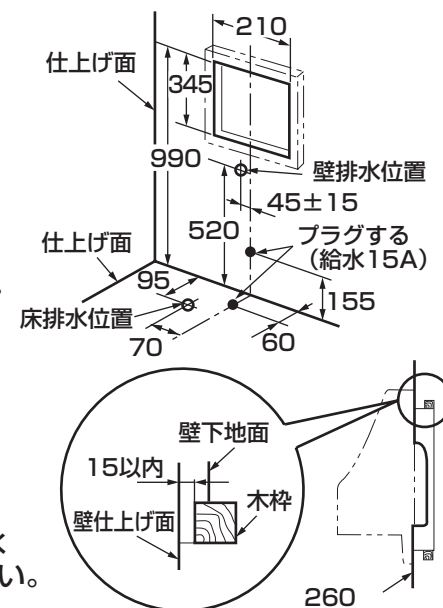
3. その他

- センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤動作することがあります。
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4. 給水・排水取出し位置について

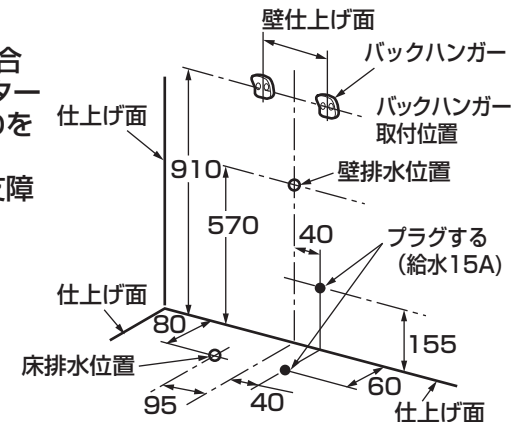
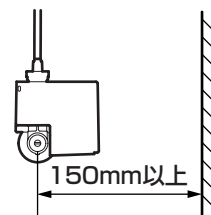
- 木枠は手洗器でかくせませんので、必ず木枠の面にも壁仕上げを行ってください。(L570の場合)
- 手洗器の品番により取付寸法が異なります。
詳細は、右図を参考のうえ、取り付けてください。
- 給・排水位置についての寸法公差は、寸法表示の±10です。
寸法表示の±10以内でないとオプション品のトラップカバーが取り付けられないおそれがあります。
- 給・排水位置についてはすべてのバリエーションに対応可能になっていますので、商品品番を確認してください。
(例) 床給水・壁排水の時は床給・排水の壁排水位置にセットしてください。

L570の場合



L870の場合

- コーナー壁・三方壁に設置する場合は、フィルター付き止水栓のセンターから右側面150mm以上のゆとりを取ってください。
自動水栓の機能部の取り付けに支障をきたします。



3

仕様・品番一覧

タイプ	AC100Vタイプ	発電タイプ
電源電圧	AC100V 50/60Hz	—
消費電力	待機時	0.4W
	動作時	0.6W
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1~40℃	
感知距離	学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)	
電源コード長さ	0.75m	—
センサーコード長さ	1.1m	
吐水流量	定流量弁(4L/分)により上限カット 必要に応じ止水栓にて流量調節可能	
給水接続	R1/2	
用途	パブリックおよび一般住宅手洗器用	

総合セット品番	構成内容							
	水栓総合セット	水栓総合セット構成内容			手洗器	トラップカバー	木枠	水せっけん
		給水栓	排水金具	取付金具				
LSE570AP (LSE570AS)	TEL570APX (TEL570ASX)	TEL592AX						
(LSE570BS)	(TEL570BSX)	TEL592BX	TL590BPX (TL590BS)	バックリガー TL593D	L570A	HP570F	HK593	—
LSW570AP (LSW570AS)	TEL570AWPX (TEL570AWSX)	TEL592AWX						
(LSW570BS)	(TEL570BWSX)	TEL592BWX						
LSE870AP (LSE870AS)	TEL870APX (TEL870ASX)	TEL592AX						
(LSE870BS)	(TEL870BSX)	TEL592BX	TL60NP (TL590BS)	T9N TA3N×2	L870A L870AM	HP870F	—	TS127C
LSW870AP (LSW870AS)	TEL870AWPX (TEL870AWSX)	TEL592AWX						
(LSW870BS)	(TEL870BWSX)	TEL592BWX						

- () 内の品番は床排水トラップの場合です。
- トラップカバー有りの場合は総合セット品番末尾に「F」がつきます。
- 水せっけん有りの場合は総合セット品番末尾に「M」がつきます。その際は手洗器の末尾にも「M」がつきます。

※品番は変更する場合がありますのでご了承ください。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

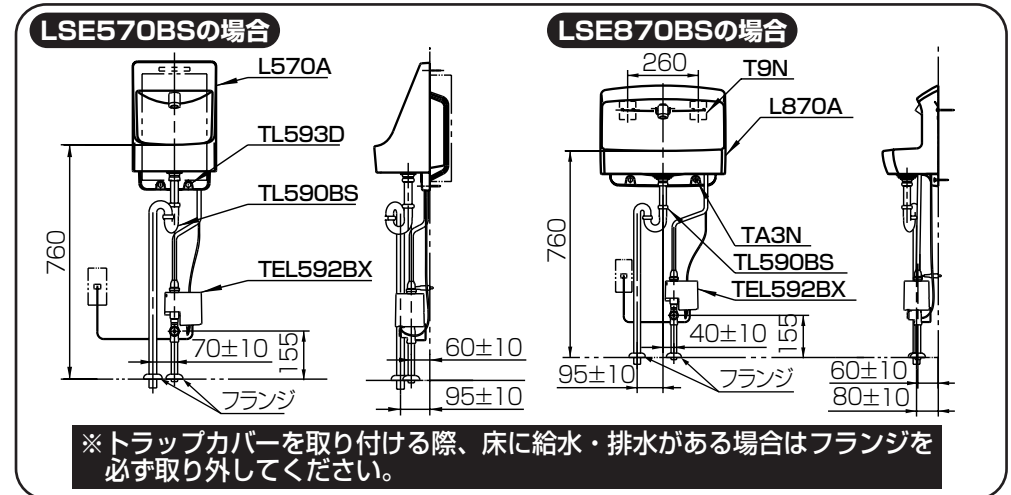
機能部	AC100Vタイプ	発電タイプ
スパウト部	給水脚部	その他

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

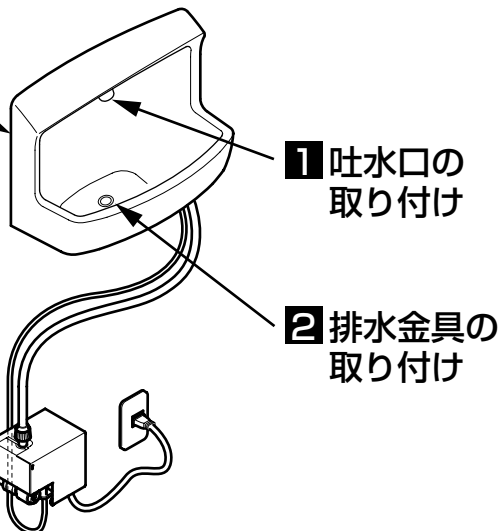
5

完成図(例)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



3 手洗器の取り付け



注意

●クリーンドライ(温風乾燥器)などとのセットでは、クリーンドライのセンサービームが手洗器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

1 吐水口の取り付け

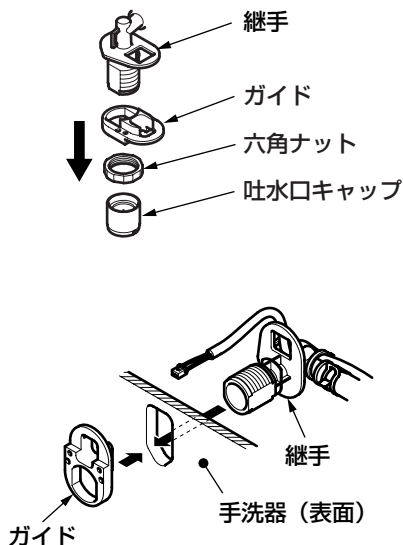
①吐水口キャップ・六角ナット・ガイドを継手より一度取り外す。

②継手を手洗器裏面より挿入する。

注意

継手の方向性に注意してください。

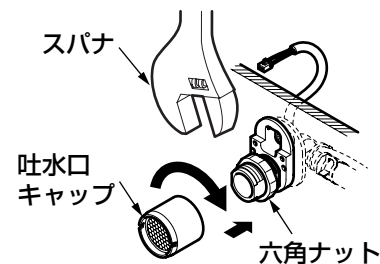
③手洗器表面にガイドを右図の向きにセットして取付穴からの継手に挿入する。



④六角ナットを継手にねじ込み、ガイドを固定する。

注意

六角ナットの締め付けはスパナなどで確実に行ってください。

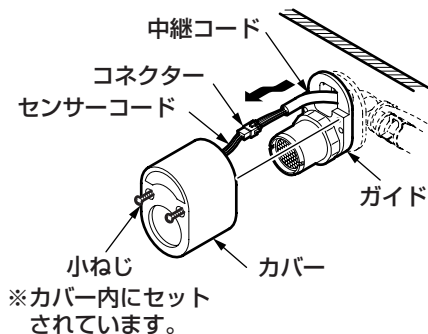


⑤吐水口キャップを取り付ける。

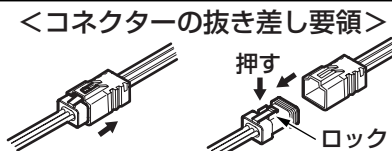
⑥手洗器裏面より中継コードを取り出し、センサーコードのコネクタに接続し、手洗器裏面に収める。

注意

コネクタの接続はロックが確実にかかるまで差し込んでください。また、抜き差し時に防水用リングを傷つけないでください。



⑦カバーの凸部をガイドの凹部に合わせ、小ねじで固定する。



コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差し込んでください。コネクタを外すときは、ロックを押し下げて引き抜きます。

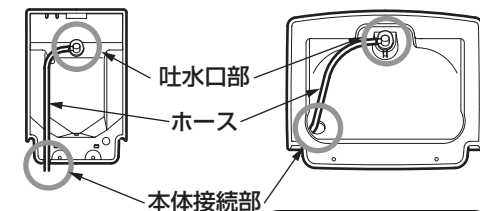
⑧ホースを手洗器へ取り付け。

注意

ホースは変形やねじれのないよう取り扱いに注意してください。ホースの防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。

L570の場合

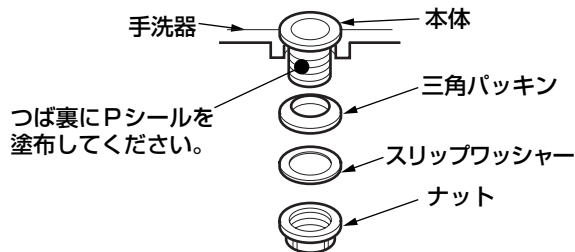
L870の場合



裏面へつづく

2 排水金具の取り付け

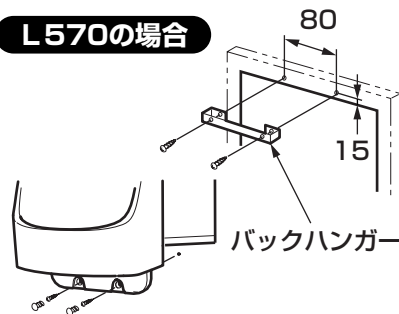
手洗器に排水金具を取り付ける。



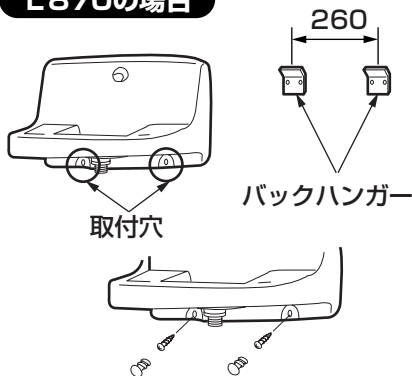
3 手洗器の取り付け

- ①バックハンガーを所定の位置に取り付ける。
- ②手洗器をバックハンガーに引っかけて仮据えし、上部を押さえ手洗器が水平であることを確認して、取付位置をけがく。
- ③手洗器をバックハンガーから取り外して、下穴を開ける。(2カ所)
- ④再度、手洗器を取り付けて木ねじで固定する。(2カ所)

L570の場合



L870の場合



4 給水管内の清掃

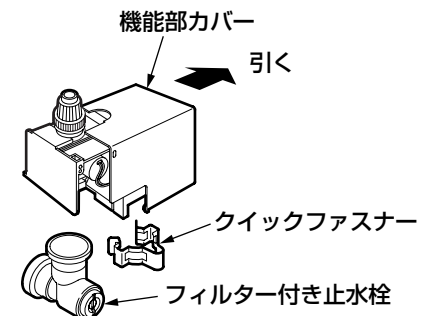
取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

5-1 機能部の取り付け

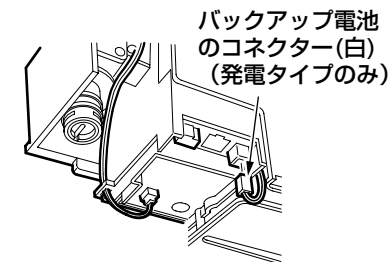
1. 機能部カバーを開ける

- ①機能部カバーを矢印方向に引く。
- ②クイックファスナーを外し、フィルター付き止水栓を取り外す。
- ③発電タイプの場合、バックアップ電池のコネクター(白)を差し込む。



注意

発電タイプの場合、コネクターを接続後、機能部が作動可能になるまでに約2分間かかります。

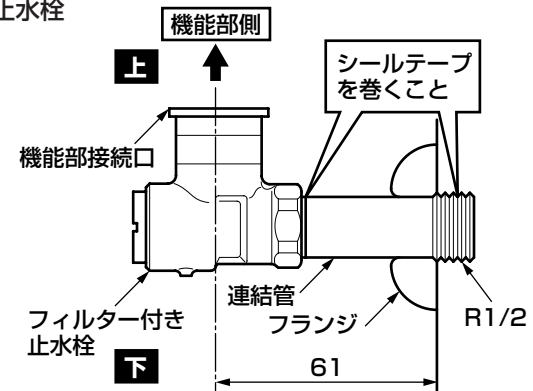
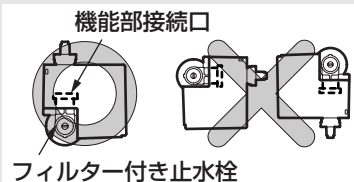


2. 給水脚の取り付け

フランジ、連結管、フィルター付き止水栓を取り付ける。

注意

必ず機能部接続口が上になるように固定してください。水が侵入し、不具合の原因になります。



※陶器と機能部が干渉する場合、取付脚(別売：TN74-2X)をご利用ください。

5-2

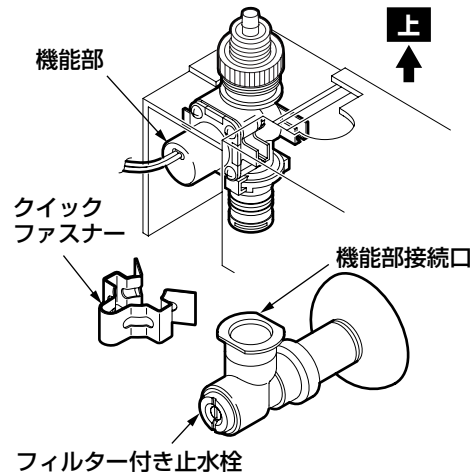
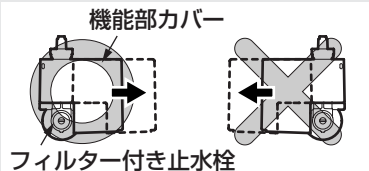
3. 機能部の取り付け

① フィルター付き止水栓の機能部接続口が上になっていることを確認し、機能部をフィルター付き止水栓に取り付ける。

② クイックファスナーで固定する。

注意

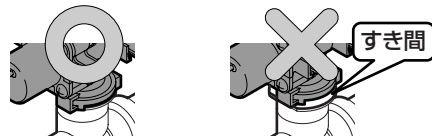
必ず機能部を取り付ける向きは、正面を向いて右側に機能部カバーがスライドする方向に取り付けてください。不具合の原因になります。

**注意**

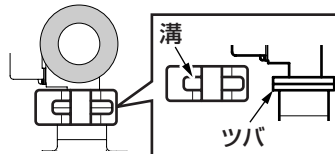
必ず実行

クイックファスナーの取り付けは、確実に行ってください。不完全な場合、外れて水漏れの原因になります。

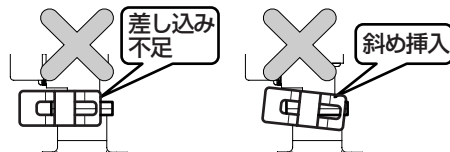
● すき間がないよう、確実に押し込む。



● クイックファスナーの溝にツバが全周にかかっていること。



● クイックファスナー取り付け後は、正しく取り付いていることを目視や鏡で確認する。



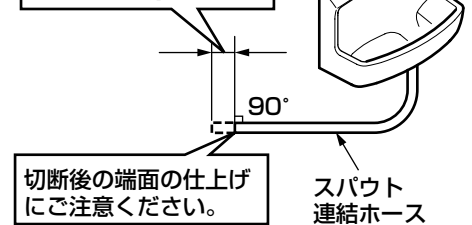
4. スパウト連結ホースの接続

① スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注意

- カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。

機能部のホース継手に合うように切断します。



切断後の端面の仕上げにご確認ください。

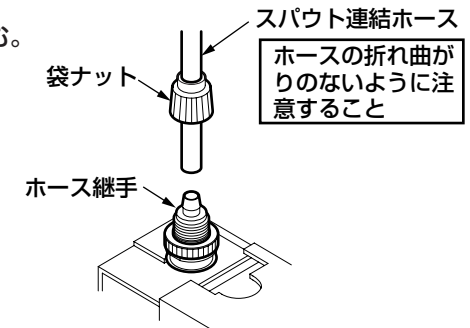
② スパウト連結ホースに袋ナットを通す。

③ スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。

④ 袋ナットを手で締め付ける。

注意

- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。



5. コネクターの接続

センサーコネクター(緑)を「カチッ」というまで差し込む。

注意

<発電タイプの場合>
センサーコネクターが入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、手洗器内に物を置いたりしないでください。
(約20秒間でこの動作は完了します)

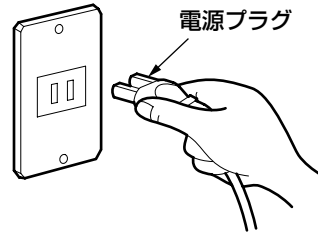


6. 電源プラグの差し込み (AC100Vタイプの場合)

電源プラグをコンセントに差し込む。

注意

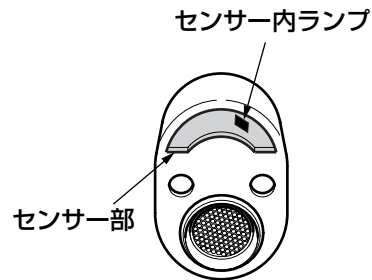
<AC100Vタイプの場合>
電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、手洗器内に物を置いたりしないでください。
(約20秒間でこの動作は完了します)



7. センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、手洗器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。

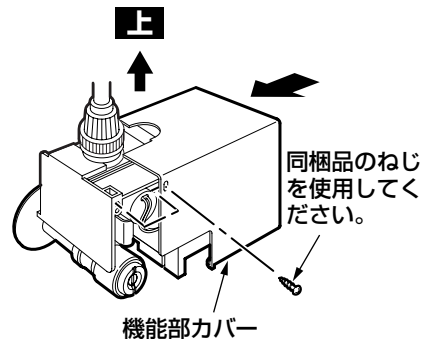


8. 機能部カバーを閉める

コネクターが確実に接続されているか、また、クイックファスナーが確実に差し込まれて固定されているか確認したあと、機能部カバーを閉め、ねじで固定する。

注意

- 機能部カバーは確実に閉めてください。
- 機能部の取り付け向きを確認してください。



試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

- ①水漏れの確認
止水栓を開き、連結管やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。
- ②水を出す・止める
 - 吐水口に手を近づけると水が出ます。
 - 手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
 - 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないと約15秒で水が止まります)
 - センサー前面から約4cmの位置に開閉工具など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。

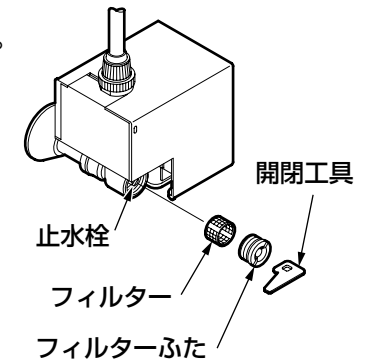
※正常に動作しない場合は、「6.3 施工手順」の「5.5 コネクターの接続」から再度ご確認ください。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。

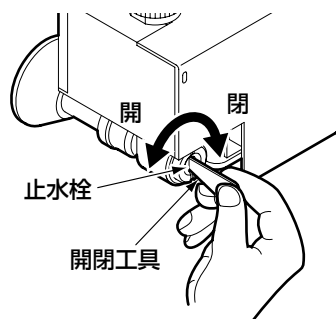


3. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁(4L/分)を内蔵していますので、流量の調節は不要です。

止水栓は全開 でご利用ください。

ただし、水の勢が強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、付属の開閉工具で止水栓を回して、流量を調節してください。



注意

<発電タイプの場合>

止水栓は**全開** でご使用ください。

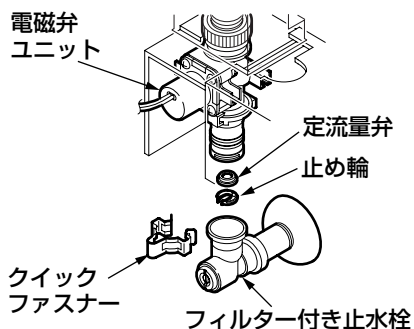
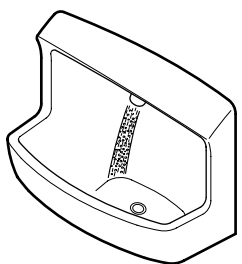
流量が少ないと十分に器具の機能が発揮されず、内部の専用のバックアップ電池が消費する場合があります。

※どうしても流量を絞る必要がある場合は、必ず**3L/分以上**を確保してお使いください。(吐水口から出る水が、気泡を含み白く見える状態)

※給水圧力が低く、流量が得られない場合は、電磁弁ユニットに内蔵している定流量弁と止め輪を外してください。

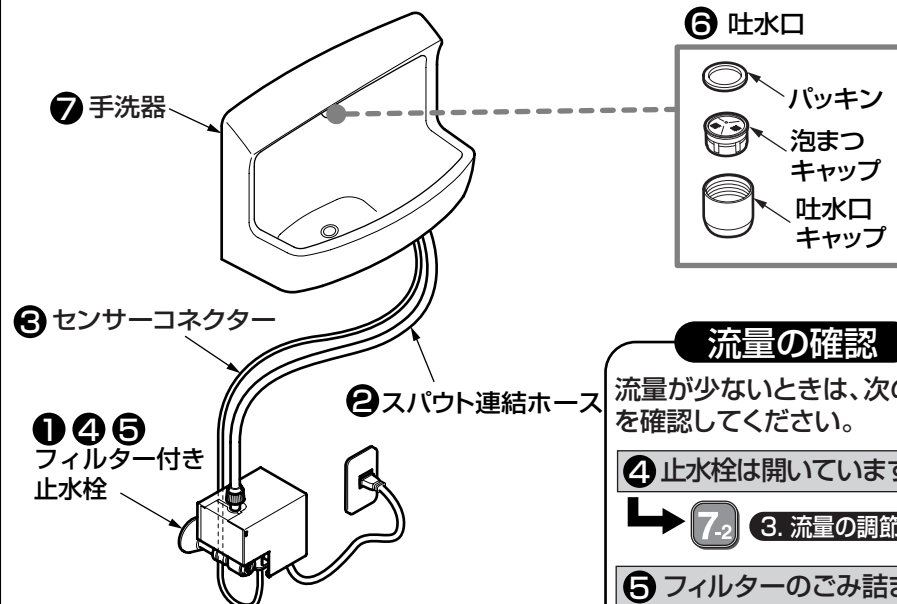
<流量3L/分以上の状態>

吐水口から出る水が、気泡を含み白く見える状態



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

④ 止水栓は開いていますか?

➡ 7-2 ③. 流量の調節 参照

⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか?

➡ 7-1 ②. フィルターの掃除 参照

⑥ 吐水口のごみ詰まりはないですか?

➡ 吐水口の掃除をする。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 止水栓部の水漏れはないですか?

➡ 6-2 - ⑤「2. 給水脚の取り付け」参照

② スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか?

➡ 6-3 - ⑤「4. スパウト連結ホースの接続」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

③ コネクターはしっかり差し込まれていますか?

➡ 6-3 - ⑤「5. コネクターの接続」参照

ガッツキの確認

ガッツキがないか確認してください。

⑦ 手洗器のガッツキはないですか?

➡ 6-2 - ③「手洗器の取り付け」参照